



# 私のひとりごと

## 「心がワクワクする」

巷ではコンビニコーヒーがブームだそうである。と、他人様の様に見えるが、実は私もそのブームにすっかりはまっている一人だ。以前、私の中でコーヒーと言えば「スターバックス」であったが、いかんせん「高いな〜」と思わざるを得ない価格設定と、近くに店舗が無い事も手伝って、高速のサービスエリアなどでたまに立ち寄る程度であった。また、値段の高さばかりに気をとられ、コーヒーの味を純粹に美味しいと思えない”ケチ”なタイプである。



ところが最近、何処のコンビニでもオリジナルコーヒーが販売されている。その製法も様々で、コーヒーマシンの使い方が解らず「どうやって入れるのですか？」と尋ねる事も多々あるが、そこにコンビニ各社の”こだわり”と”差別化”が感じられ、心がワクワクする。その中でも私の一番のお気に入りには某コンビニのミニOトップである。他が嫌だと言うことでは決してないのだが、ミニOトップは一杯のコーヒーが税込み 100 円（他のコンビニでも同じ 100 円のところもあるが……）である。この良心的な価格設定はとても大切で、お小遣いが無くなりそうになった時の”上乗せ”が家内の気分によって左右される私にとって、決して譲れない処である。それともう一つ、コーヒーの量。他のコンビニはスイッチを押せば一定量で止まってくれる非常に便利なコーヒーマシンが設置してある。一方、ミニOトップはポットから直接注ぐという何とも味気ないアナログな入れ方ではあるが、量は自分の好きなだけ入れて良く、いつもカップから溢れるギリギリまで入れられるお得感が私の心を捉えて離さない。「でも味がね……」と言われる方も居られると思うが、正直私はコーヒーの味の違いに疎く、安くて多くて、それなりに美味しければ大満足のタイプなのだ。私の様なタイプにターゲットを絞った（失礼）のかどうかは定かでないが、会社前にファオリーマートが在るのにも関わらず、”いつものコーヒー”を飲むためにわざわざ数キロ離れた店舗まで、時間とガソリンまで使って買いに行かせてしまうミニOトップの戦術に苦笑いする事もある。

そんな中、最近新聞で一杯 1,000 円もするコーヒーが発売されたという記事を目にした。「そんなに高いコーヒーを誰が飲むのだろう……？」と私の様なタイプは思ってしまうのだが、それでも「勝算あり」と考えた所にメーカーの戦術の奥深さが感じられる。果たして、一杯 1,000 円の戦略が吉と出るか凶と出るか。まだまだコーヒー戦争は激しさを増すようだが、一人のユーザーとして興味深く事態を見守っていきたいと思う。たかがコーヒー、されどコーヒー。コーヒー一杯でもこれ程までに人の心をワクワクさせるのだから、世の中には身近に面白くて楽しい事がもっと溢れているに違いない。

ではまた来月もお会いしましょう。  
今月も最後まで読んでいただき……、

あっがしう  
ございました!!

